



有限会社 吉田工業

vol.34

2025 年 10 月 15 日発行





上越事業所 班長

HOSHINO HISANORI 星野 久宣

入社5か月で50人超のチームを率いる班長に抜擢された星野久宣さん。世代も専門も異なる職人たちが集う未知の現場で、信頼を築く武器にしたのは「対話」でした。星野さんの活躍の裏にある仕事の信念に迫ります。

これまでの経歴と、
有限会社吉田工業へ
入社されたきっかけを
教えてください。

前職はプラント工場で、施設の点検や修理に携わっていました。今の仕事と通じる部分もありますが、実際には新しいことばかりで日々勉強の連続です。入社の決め手は、求人パンフレットで紹介されていた「コミュニケーションが取りやすい」という言葉でした。以前の職場では会話の機会が少なく、相談しやすい環境は重要だと考

えていました。実際、当社は社長自ら現場に入ることもあり、立場に関係なく話しやすい雰囲気。気が大きな魅力だと感じます。

入社5か月で
53名を率いる班長に
抜擢されたときの
心境はいかがでしたか。

2025年の1月からは茨城県にある東海原発の新設工事の現場で、班長を任されています。初めは、正直「自分にできるのか」という不安が大きかったです。現場は社員6名に加え、下請け会社の方々を含め総勢53名。メンバーは20代の若手からベテランまで、年齢や性別、専門分野もさまざまです。これほど大きなチームをまとめるのは初めての経験で、当初は先輩が指導してくれましたが、それでも手探りの毎日でした。

多様なチームを

まとめる上で、大切に

していることは何ですか。

何よりも、コミュニケーションを大切にしています。特に、仕事の合間や休憩中の喫煙所での何気ない会話が、私にとって貴重な情報交換の場です。仕事の話だけでなく、世間話を交えながら関係を築くことで、いざというときに本音で話せる信頼関係が生まれると考えています。また、メンバーの方から、「このやり方でもいいか」と提案をいただく場面もあり、私自身が彼らのノウハウを勉強させてもらっています。自分から積極的に話を聞き、現場を見て学ぶことが大切です。こうした姿勢で対話を重ねることによって、チーム全体としても和気あいあいとした、相談しやすい雰囲気が生まれていると感じます。

仕事における信条や、

やりがいを感じる

瞬間を教えてください。

「手戻りのない仕事」を常に心がけています。班長になって間もない頃、溶接の出来栄が原因で元請けの検査に合格できず、工程が止まってしまった失敗がありました。やり直して二度手間になったこの経験から、品質の重要性和事前のコミュニケーションがいかに大切かを痛感しました。わずかな見栄えの違いが工期に影響するため、職人さんたちと「これはどう思う？」と気兼ねなく言い合える関係が不可欠だと、改めて感じます。

普段、作業をしている現場は地下で、湿度が90パーセントを超えるとときもある過酷な環境です。何もしくなくても汗が噴き出すほどですが、さまざまな状況

を皆で乗り越え、一つのを創り上げたときの喜びは格別。厳しい環境だからこそ、達成感はひとしおです。

今後の目標と、会社の

成長に対する想いを

お聞かせください。

一つひとつの丁寧な積み重ねが、やがて「吉田工業なら任せたい」という、お客様からの信頼に繋がるでしょう。そして、その信頼が会社の業績となり、ひいては私たち社員に返ってくると信じています。まだ入社して1年未満で学ぶべき点も多くありますが、ゆくゆくは一人で現場を任せてもらえるような存在になることが、私個人としての目標です。現場の管理だけでなく、他の社員が苦手なパソコンでの書類作成も私が担うべき役割。翌日の作業予定を現場で

とにまとめて印刷して渡すなど、自分が率先して動くことで現場全体をスムーズに回せるようになりたいと考えています。そうした小さな努力の積み重ねが、いつか必ず成長に結びつくと思っています。

コミュニケーションを軸に、多様な仲間と信頼関係を築き、大きな現場を動かしていく星野さん。その誠実な仕事ぶりと学ぶ姿勢は、会社の未来を担う大きな力となるに違いありません。

企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

ありがとう メッセージ

新しい現場での不安を打ち消し、いつも気にかけてくれる先輩へ、感謝の気持ちを伝えたいと語ってくれた下野さん。今回は、下野さんの背中を押してくれた松本さんへのメッセージをお届けします。

＼下野さんが「ありがとう」を送りたい方／

To

機械課
部長

まつもと あつし
松本 厚さん

From

工事一課

しもの

けんたろう

下野 健太郎さん



「仕事を教えてくれてありがとうございました」

松本さんとのエピソード

不安な気持ちを和らげる、 松本さんの温かい気遣い

初めての現場で右も左もわからなかった私に、最初に仕事を教えてくれたのが松本さんでした。当初は不安な気持ちが大きく、もともと人と話すことが得意ではないこともあり、新しい現場でうまくやっていけるのか心配でした。そのような私の様子を察して、松本さんが声をかけてくれたのです。仕事のことでなく、他愛もない雑談もしてくださり、ずいぶん気持ちが楽になりました。

松本さんの尊敬しているところ

期待を力に変える、 松本さんのメッセージ

人に話しかけるのが苦手な私をいつも気にかけて、声をかけてくれます。また、仕事でうまくいかないことがあっても、頭ごなしに怒るようなことはありません。「できると思っているからこそ怒る」という松本さんの言葉が、自分を奮い立たせるきっかけになっています。一人ひとりを気にかけてくれるその姿勢を、心から尊敬しています。



クイズ!

クイズに答えて、あなたの知識度をチェック!
業界動向を知るのに役立ててください。

第1問

原子力発電所の高経年化対策として、2023年5月31日に「脱炭素社会の実現に向けた電気供給体制の確立を図るための電気事業法等の一部を改正する法律」(GX脱炭素電源法)が成立しました。これに基づき、2025年6月6日に高経年化した原子炉に対し、新たな規制が施行される。同法により、〇〇年超運転のプラントについて、10年以内ごとに「長期施設管理計画」の認可を受けることが義務付けられた。

問題

文中の〇〇に当てはまる数字を
(1)～(4)の中から選びなさい。

(1) 10

(3) 30

(2) 20

(4) 40

▼参考

国内原子力発電 再稼働分の設備利用率は80.5%
<https://www.jaif.or.jp/journal/japan/27601.html>

② (C) [埼玉]

第2問

経済産業省の「[A]」が4月17日、1年3か月ぶりに開かれた。同協議会は、核燃料リサイクル事業の推進について、[B]と話し合う場として、2015年以来、行われている。

問題

「[A] [B]」に当てはまる適切な組み合わせを
(1)～(4)の中から選びなさい。

(1) [A] 使用済燃料対策推進協議会 [B] 事業者

(2) [A] 原子力エネルギー協議会 [B] 市町村

(3) [A] 原子力エネルギー協議会 [B] 国民

(4) [A] 使用済燃料対策推進協議会 [B] 政府

▼参考

「使用済燃料対策推進協議会」エネ基策定後 初開催
<https://www.jaif.or.jp/journal/japan/27628.html>

② 事業者[B] 使用済燃料対策推進協議会[A] (1) [埼玉]

我々の業界動向は、社会の流れと密接に関わっています。経済ニュースをチェックし、敏感に業界動向を捉えていきましょう!

新たな仲間と描く未来図 ～採用活動進捗レポート～



人事部
すずはら ひろこ
鈴原 寛子さん

高校新卒者の入社を皮切りに、この1年で当社は多様な背景を持つ新たな仲間を迎えました。採用活動の最前線から見てきた確かな手応えと、未来への次の一手についてご紹介します。

前回取材から現在までの採用活動の進捗

多様な力が未来を拓く

2024年10月のインタビュー以降、採用活動は着実に前進しています。2025年4月、当社初となる高卒の新卒社員3名を迎え、社内には活気にあふれるようになりました。中途採用でも経験者や若手、外国人技能実習生など多様な人材が加わり、職場に新たな刺激が生まれています。来春には大卒者の入社も控え、未来を担う力が着実に育っていることを実感する毎日です。

この1年の採用活動の戦略の変化

会社のリアルな姿を発信

この1年、特にSNSでの情報発信に力を入れています。中でもInstagramは、当社の事業内容や雰囲気をより多くの方へ伝えるため、ほぼ毎日更新中。新入社員から「インスタを見ていました」との声も寄せられ、若い世代へのアプローチに手応えがあります。ユニークな試みとしては、ストーリーズ企画「本日の社長飯」があります。社長の昼食を投稿し、親近感をふかめてもらうねらいです。またYouTubeでは、特別な許可のもと発電所内の業務風景を公開。動画で現場のリアルな空気感を伝え、入社後の具体的なイメージを持ってもらうことを目指しています。

直接触れ合う機会を創出

オンライン発信と並行し、求職者の方々と対面での交流も大切にしています。県内で開催される企業説明会には代表も参加し、会社の雰囲気や考えを直接お伝えしています。また、2025年から大学生向けインターンシップも開始。1日と5日間の本格的なプログラムでは、工具の使用から発電設備の分解・組立、CAD作図、溶接までリアルな業務を体験できます。2025年8月には代表の直接指導のもと2名が参加。今後も月1回ペースでの開催を予定しています。

新たに見えてきた課題と今後の展望

マッチ率向上が 次のテーマ

応募は順調な一方、求めるスキルと求職者の希望にズレが生じる「マッチ率の低さ」が課題です。資格や経験年数だけでは伝えきれない仕事の深い魅力を、今後はよりの確かな言葉で発信していく必要があります。

独自の魅力を発信

建設業界が人手不足の課題を抱える中、当社にはAIに代替されない高い技術力があります。今後はこの強みを軸に「採用広報」の視点で、当社の魅力を戦略的に発信することが不可欠です。

インフラを支える社会貢献度、地域トップクラスの福利厚生、役職者による手厚い現場指導が当社の大きな魅力。2025年も「ユースエール認定企業」に認定されました。これは、月の残業10時間以内、年間有休取得16.4日、有休取得率100%という働きやすい環境の証明です。こうした強みを、SNSなども活用してより効果的に届けていきたいと考えています。

私の 3カ年計画



企業が成長する原動力は、社員一人ひとりのステップアップに他なりません。
今回は、将来を担う若手のホープ3名に、自身のキャリアプランについてインタビュー。
それぞれの3カ年計画から、仕事に対する誠実な姿勢と、未来への展望をご紹介します。



工事一課

いそがい

かずと

磯貝 一翔さん

入社年:2024年

成長した点

入社当時よりも朝早く出勤し、その日のうちに
できることを済ませておくようになったこと。

朝をスムーズに過ごすことで、1日全体の仕事が円滑に進むように
なったと感じています。

もっと成長したい点

1人でできることを増やし、現場調整の際は
誰にでも的確に説明できるようになりたい！



私の3カ年計画

1年後

**現場調整を1人で
できるように**

わからないことは先輩に聞きますが、聞いただけで終わらせず、しっかりと覚えて次に活かせるようにします。

2年後

**後輩に仕事を
教えられるように**

今は先輩に教えてもらえばかりですが、将来後輩ができたときに自分も同じように教えられるように、業務を完璧に覚えたいと思っています。

3年後

**次なる目標を
模索中**

どのような職人さんともうまく対話できる人を目指します。人によって個性があるため、相手の意見を尊重しながらも、うまく現場をまとめ、大人な対応ができるようになりたいと考えています。

理想の先輩

現場を総括している先輩に憧れています。その先輩は経験豊富で視野が広く、4つの現場をまとめられている姿は本当にすごいと思います。



工事一課

いしだ あさひ

石田 旭さん

入社年:2025年

成長した点

先輩の指示を聞いて自身で考え、
実行する力が身についた

もっと成長したい点

仕事の流れを覚え、不明点をなくしていきたい!



私の3カ年計画

1年後

自分で考えて
動けるようになる

今は先輩と2人で仕込みを行っていますが、1人で完結できるようになりたいと思っています。動きに無駄が出ないよう、計画的に準備しながら取り組んでいるところです。

2年後

後輩に仕事を
教えられるようになる

今は先輩方に教えていただければいいのですが、2年後には自分がしてもらったように後輩を指導できるよう、まずは自身の業務を完璧に覚えます。

3年後

次なる目標を
模索中

現時点ではまだ3年先の具体的なイメージは持てていません。まずは1年後、2年後の目標を着実にクリアし、その先に自分のやるべきことを見つけていきたいと思っています。

理想の先輩

まつもと あつし
松本 厚さん

最近一緒に業務をすることが多く、さまざまな指導やアドバイスをいただいています。



工事一課

おだくら ともや

小田倉 知也さん

入社年:2024年

成長した点

他社との打ち合わせや、工程管理を
まとめられるようになったこと

もっと成長したい点

管理側として、溶接のチェックや知識を深めること!



私の3カ年計画

1年後

現場の作業員に
頼られる存在になりたい

まだ経験が浅く、現場で突発的な変更が生じた際に、その場で即決できないことがあります。目標達成のために、日頃からさまざまな図面や要領書に目を通すようにしています。

2年後

何でもできる
人になる

関わる機械系の職種など、さまざまな知識を深めていきたいと考えています。まずは必要な知識を把握するように努めています。

3年後

現場管理や事務作業を
1人でできるようになる

現在、2人で担当している現場管理や事務作業を、1人でも余裕をもって取り組めるようになるのが目標です。協力会社の方々とのコミュニケーションをさらに深め、さまざまな情報を得ることで、新しい視点を身につけていきたいと考えています。

理想の先輩

いしかわ たつひこ
石河 達彦さん

仕事に関する知識が豊富な方で、石河さんに聞けば何でも解決します。私も石河さんのように、頼られる存在になりたいと思っています。

